

※課税事業者の場合は売上高は全て**税抜き**で記入してください。

【別紙②(その他区域)】

店舗名

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。
※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。
※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。
支給額等を必ずご確認のうえ、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】

中小企業ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい

いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの5月の売上高の合計は、2,583,323円(1日当たり83,333円)を越えますか？

売上高減少額方式をご利用ください

いいえ又は不明

※令和2年5月2日以降に開業の場合は「新規開業店特例」へ

令和元年又は令和2年いずれかの5月と令和3年の5月の売上高減少額の合計が775万円(1日当たり25万円)を超えている場合は、売上高減少額方式も選択可能です。

$$25,000\text{円} \times \text{時短協力日数} \text{日} = \text{当該店舗の支給額} \text{円}$$

上記内容で申請します

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

$$\text{令和元年又は令和2年5月の売上高} \text{円} \div 31 \text{日} \times 0.3 = \text{令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上単価} \text{円}$$

千円単位切上

$$\text{令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上単価} \text{円} \text{ 【上限7.5万円】}$$

$$\text{令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上単価} \text{円} \times \text{時短協力日数} \text{日} = \text{当該店舗の支給額} \text{円}$$

上記内容で申請します

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄(□)のみ入力可能です。
※□のセルで「チェック」と入力して変換すると、□が☑に変わります。

※課税事業者の場合は売上高は全て**税抜き**で記入してください。

【別紙②(その他区域)】

店舗名	
-----	--

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。
※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。
※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

【売上高減少額方式】

令和元年又は令和2年いずれかの5月と比べて 令和3年の5月の売上高は減少していますか？
--



支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年5月の売上高計	令和3年5月の売上高計	令和3年から令和元年又は令和2年5月の売上高減少
① <input type="text"/> 円	② <input type="text"/> 円	③ <input type="text"/> 円

令和3年から令和元年又は令和2年5月の売上高減少	令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上高減少単価
③ <input type="text"/> 円	④ <input type="text"/> 円

千円単位切上

令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上高減少単価
⑤ <input type="text"/> 円

【上限額】20万円又は令和元年若しくは令和2年5月の1日当たり売上高×0.3のいずれか低い額

令和元年又は令和2年5月の売上高計	令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上高の3割
① <input type="text"/> 円	⑥ <input type="text"/> 円

20万円又は⑥のいずれか低い額
⑦ <input type="text"/> 円 = 上限額

令和元年又は令和2年5月の1日当たりの売上高減少単価【上限あり】	時短協力日数	当該店舗の支給額
⑧ <input type="text"/> 円	⑨ <input type="text"/> 日	⑩ <input type="text"/> 円

上記内容で申請します

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄(□)のみ入力可能です。
※□のセルで「チェック」と入力して変換すると、□が☑に変わります。

※課税事業主の場合は売上高は全て**税抜き**で記入してください。

【別紙②(その他区域)】

店舗名

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。
※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。
※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

【新規開業店(開業後1年未満の場合(令和2年4月2日以降に新規開業))の特例】

			<input type="checkbox"/> 第1期からの継続申請 ↑該当する場合「1」を入力
開業日			
①			
開業日～令和3年5月11日※の売上高	÷	開業日～令和3年5月11日※の日数	日 × 0.3 =
②		③	④
円		日	円
			千円単位切上
			当該店舗の売上単価
			⑤
			円
			【上限7.5万円 下限2.5万円】
当該店舗の売上単価	×	時短協力日数	=
⑤		⑥	⑦
円		日	円
<input type="checkbox"/> 上記内容で申請します			

※第1期からの継続申請は4月25日

【新規開業店(時短営業の要請期間中(令和3年5月12日～令和3年5月31日)に新規開業)の特例】

当該店舗の売上単価	×	時短協力日数	=	当該店舗の支給額
①		②		③
(定額) 25,000		日		円
円		日		円
<input type="checkbox"/> 上記内容で申請します				

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄(□)のみ入力可能です。
※□のセルで「チェック」と入力して変換すると、□が☑に変わります。